

令和3年1月29日

入試広報課
矢田 守

入試広報課 重点目標 『令和2年度 総合評価』

入試広報課の重点目標：『つながりを深める媒体となる』

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
2	今年度は『コロナ禍』という特殊な状況の中での活動となった。必要な情報は可能な限り発信してきたが、運動部の公式試合が軒並み中止とされるなどの影響を受け、新着情報では戦績発表や表彰に関する記事が本数を大きく減らした。	記事の本数は、R01は105本、R02は67本。3割超の減数であった。語学研修の現地報告もなくなり、特に7月、9月、2月に本数を減らした。

入試広報課の方針

上記の役割を十分に果たしその目標を具体化するため、以下の項目に重点を置き、今年度の業務に取り組む。

① 正確な情報収集と迅速な発信

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	新着情報での学校行事紹介記事やコロナ関係の文書など、適時にホームページ上に掲載し、情報を迅速に発信することが出来た。	学校行事関係の記事では、9割の記事は当日掲載することが出来た。

② 入試広報課内の連携と役割分担の徹底

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
2	役割ごとに仕事は十分全うされ、協力し合って仕事することが出来た。 課内の意見交換で指摘があり、「いいね！👍ボタン」の表示を今年度末で止めた。	「さらに効率よく発信できる仕組みを考える必要がある」との意見があった。

③ 各ハウス、各部署、生徒会及び部活動顧問との密な連絡

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
2	各担当教員の協力の下で、最新情報を発信できていた。一方で、ホームページ内のコンテンツについては、その活用状況は団体によってどうしても差が出てしまう。新着情報も含め、もっと気軽に利用してもらえる環境を作りたい。	部活動の活躍が制限される一方で、動画による紹介コンテンツ設けることが出来た。総務部の貢献大であった。